



アメダス 地域気象観測所

「アメダス」をシステム受注！！

明星電気は気象庁殿より「地域気象観測システム」(通称アメダス“Automated Meteorological Data Acquisition System”)をシステム受注致しました。

アメダスは日本各地に設置された気象計の気象データを気象庁のアメダスセンターに集約するシステムです。「降水量」「風向風速」「気温」「日照時間」「積雪深(一部)」を計測する有線ロボット気象計を、北は北海道稚内から南は沖縄の波照間まで230箇所に設置しています。

この情報はテレビやラジオなど様々なメディアへ提供され、気象災害を防止・軽減するために幅広く活用されています。

明星の技術力が縁の下から社会のインフラをささえています。



航空局殿よりCCS-07型 通信制御装置を受注！ (Communication Control System Type CCS-07)

2007年7月 航空局殿から通信制御装置CCS-07を受注いたしました。

本装置は空港の航空管制卓であるCCS-79Cの後継機として地方空港に整備される通信制御装置です。

今年度は5空港(庄内、福島、静岡、出雲、対馬)の契約を致しました。

航空交通システム業務の効率化と他システムとの接続を考慮し、保守機能の向上を図る事を可能にしたシステムです。

通信制御装置CCS-07は、空港のVFR室(管制塔)および機器室に設置し、無線電話装置等と接続して対空通信、NTT回線等を介して有線通信を行う装置です。

VFR室に設置される管制卓は空港周辺の航空機との通信を主とするローカルコントロール卓、地上の航空機との通信を主とするグランドコントロール卓、関係官署等の電話連絡を主とするフライトデータ卓の3卓構成になります。

機器室には管制卓と無線回線及び有線回線間の制御を行う通信制御装置、システム管理、データの蓄積等を行う保守管理装置が設置されます。



従来の管制卓(上)と07型イメージ図(下)

航空管制卓：航空機との対空通信および対応する管制機関との音声通信を行う装置



セミナー受講風景

7月19日・20日、名古屋にて 「企業のためのBCPと地震防災対策セミナー」を開催

7月19日と20日の午後、名古屋市内で「企業のためのBCPと地震防災対策セミナー」を開催しました。本社・工場(伊勢崎)、東京都内でのセミナーに続き、第3回目の開催となり、2日間で80社100名と多くの方にご来場いただきました。

自動車関連産業が多く立地している関係もあり、また、セミナー直前の7月16日に発生した中越沖地震による関連産業への影響を受け、会場のお客様からはBCPや緊急地震速報への取り組み、QCASTシリーズ製品の活用事例に多くの関心が寄せられていました。

ご参加いただいた皆様には、お忙しいところご来場いただき、誠にありがとうございました。

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。